





Contents

- 2 学長挨拶
- 後援会会長挨拶
- 3 部会活動報告
- 4 課外活動支援報告

- 5 大学からの報告
- 6 2021年度 行事予定 2020年度 理事名簿 など 編集後記



ポストコロナの教育

洋牛 仙台白百合女子大学 学長 矢口

2020 年度は COVID19 に踊らされた一年となりま した。本学では幸いにも前期の後半から一部において、 後期の初めから全面的に対面授業を再開することができ ました。再会できた要因は、本学が地域密着型の教育機 関であること、小規模大学であるため感染予防の管理が しやすかったこと、大規模教室での授業が少ないこと、 女子大学生の衛生意識が総じて高いと思われること、教 員と職員が一体となって対応したこと、学生が協力だっ たこと等が考えられます。感染者や濃厚接触者は数人出 ましたが、クラスターも出ず、それなりに対応できたの ではと考えています。学生を援助するための奨学金資金 を、後援会の事業積立金の中から出していただいたこと は、学生支援の大きな後押しとなりました。この場を借 りて心から感謝申し上げます。

コロナ禍を通して課題もたくさん見えてきました。オ ンライン授業が行なわれるにあたって、同時に行われる 多くの授業に、通信が耐えられるかどうかが常に懸念の 種となりました。市内の他大学では通信の不具合が相次 ぎ、通信が途切れ、速度が遅くなりました。本学では幸 いにもシステムダウンは起こらず、そのような不具合 はありませんでした。教員にとっては、従来と異なる 授業を新たな機器とシステム によって行わなければならな かったため、緊張が続く一年 となりました。15週間の授

業を完遂することは、薄氷を歩くような感じでした。

一方、学生の皆さんは慣れない環境での学修に最初は 苦労しながらも、予想以上に早く適応できたのではと思 います。これには世代の違いを感じました。5年前に日 本政府が作った第五期科学技術基本計画によると、人類 は「Society5.0」に突入しようとしていて、それはサイ バー空間(仮想空間)とフィジカル空間(現実空間)が 融合した新しい社会とのこと。学生の皆さんとオンライ ン空間で接しながら、新しい社会の実現は思っていたよ りも早いかもと思わされました。

しかし、教育には人と親密に接することによってしか 成し得ない部分があるはずです。したがって、今後は、 新たに獲得したオンラインの技術・技能を有効活用しな がらも、従来型の対面授業をそれと組み合わせながら柔 軟に教育を展開することになるでしょう。人を真の成長 に導く教育、それを学生・教職員・後援会の皆様と協働 して模索できれば、と願っています。



武田 光由 仙台白百合女子大学後援会 会長

皆様におかれましては、日頃から仙台白百合女子大学後 援会の活動に対し御理解と御協力を頂き誠に、ありがとう ございます。

後援会は、在学生保護者・大学教職員との連携を密に 一致協力した活動を通じ、学生生活の向上、更には大学発 展への寄与・会員相互親睦を図ることを目的として、2011 年10月に設立され、今年度で10年目の活動となりました。

保護者と教職員が協力して次の3つの作業部会を基本に 後援会活動を行っております。

(1)大学連携部会

大学の奨学金、キャリア支援、学生の課外活動の充実 のための支援等

(2)事業部会

保護者向け講演会の開催、卒業記念品贈呈や「白百合祭」 参加等

(3)広報部会

広報誌発刊、ホームページ制作等

残念ながら、今年度は新型コロナウイルス感染症の拡大 等の影響により、後援会総会が書面開催となり、理事会も 5回中2回が書面開催となりました。

さらには、休校、オンラインによる授業実施、白百合祭 をはじめとした各種イベントが中止となる等、後援会活動 のみならず、学生生活も大きな制限を受けた一年でもあり ました。

本会では、「学生生活の向上」 を第一の目的とし、新型コロナ ウイルスの影響で経済的にひっ

迫した学生に対し、大学と連携し緊急支援を行う等、この ような状況下でも、でき得る限りの活動を行ったところで す。

次年度は、コロナの影響が治まり、通常の後援会活動が 行えることを願って止みません。

大学生活の4年間は、人生において最も成長し、最も輝 く時期でもあります。その大切な時期にいる学生達をサ ポートしていくためにも、保護者の皆様におかれましては 後援会への積極的な御支援を賜りますとともに、後援会理 事のお引き受けをお願いいたします。

理事会は年5回程度、土曜日の午前に開催され、他に各 部会の集まりが年1~2回程度ありますが、無理のない範 囲で参加していただいておりますので、それ程の御負担に はならないかと思います。

また、今年度はコロナ渦で開催が見送られましたが、年 2回程度、理事会開催日の夜に懇親会を開催しており、学 長をはじめとした職員の皆様と率直な意見交換ができる貴 重な場も設けられております。

理事会への御参加をどうぞよろしくお願いいたします。 最後になりましたが、学生の更なる飛躍と皆様の御健勝 と御多幸を祈念し、御挨拶とさせていただきます。



部会活動報告



第10回後援会総会 報告

2020年度後援会総会は、2020年6月20日(土)に開催予定としておりましたが、新型コロナウィルス感染症拡大防止の観点から、書面決議により行いました。

書面決議(6月19日から6月25日)の結果、議案の2019年度事業報告、収支報告、監査報告、 2020年度事業計画、収支予算、理事の選出については、全て原案どおり承認されました。

書面決議にご協力いただきました会員の皆様、理 事の皆様に心より御礼申し上げます。

今後とも後援会活動にご理解とご協力の程、よろ しくお願いいたします。

(大学連携部会 高橋 千恵子)

広報部会活動報告

広報部会は、後援会会報「shirayuri」の発刊を目標に活動しております。この会報は1年に1度発刊し、会員の皆様へお届けさせて頂いております。

会報「shirayuri」は、後援会の各部会の活動報告をはじめ、学生の皆さんからキャンパスライフの声を掲載することで、大学側、学生、保護者が少しでも情報を共有し相互関係の理解が深まることを願っております。会員皆様のお声も載せていきたいと思っておりますので、掲載して欲しい記事や出来事がございましたら、是非とも、理事会にお声がけ下さい。今後も興味をもって頂けるような会報を目指していきたいと思います。

今年はコロナ禍ということもあり、打合せ等もLINE、メールやZoom等のツールを利用しての準備となりました。対面で打合せが難しい中、多くの方にご協力頂いての活動となりました。ご協力を頂いた皆様に感謝致します。

また、ホームページも随時更新しており、大学の行事や学生の様子も垣間見ることができますので、ご覧ください。

(広報部会 今野 芳子)

大学連携部会活動報告

大学連携部会では、「奨学支援」「課外活動支援」 「キャリア支援」の各事業を通じ、学生に対する支 援活動を行っております。

「奨学支援」では後援会から300万円を支出し、 大学奨学金と一体運用して、経済的困難学生支援及 び東日本大震災授業料減免支援を行いました。

更に、「勉学奨励」として、各学科が実施する事業に参加する学生への補助を行っております。

「課外活動支援」では白百合祭へ対する各種支援 を行っているところですが、今年度は白百合祭の中 止に伴い、構内でのクリスマスイルミネーション設 置の支援をいたしました。

「キャリア支援」ではSPI試験対策講座、公務員 試験対策基礎講座、履歴書用証明写真撮影等、就職 に向けた活動に対する補助を行っております。

更に今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の 影響で経済的にひっ迫した学生に対し、事業積立金 を活用し、大学と連携しての緊急支援も行ったとこ ろです。

これからも大学側との連携を深め、学校生活がより充実したものとなるよう、学生の支援を行ってまいります。

(大学連携部会 武田 光由)

事業部会活動報告

事業部会では、新型コロナウイルス感染症の全国 的な拡大で、保護者向け講演会や白百合祭の参加な ど従来の活動を休止せざるおえない一年となりまし た。

一刻も早い収束を願い、2020年度の卒業生に記 念品を贈呈し、今後にエールを贈ります。

(事業部会 金澤 晃一)

課外活動支援報告

イルミネーション設置に関して

例年、後援会補助を いただき開催しており ました白百合祭は、新 型コロナウイルス感染 防止のため中止を余儀 なくされました。その ため、他に学生に還元



できることはないか検討していたところ、学生役員より イルミネーション等でキャンパスを明るくして欲しいと いう要望が出されました。その提案をもとに、コロナ禍 で尽力されているすべての方々に感謝の気持ちを表明 したいと思い、ブルーを基調としたイルミネーションで 正門付近を装飾しました。装飾にかかわった学生からは、 「夕方無事に点灯し、イルミネーションの前で写真を撮っ てはしゃいでいる姿をみて嬉しく思いました。少しでも 学校を活気づけられたのではないか」という感想が寄 せられました。今後はアドベントの集いに合わせた新た な学生会活動として定着させたいと考えております。

学生の要望にご賛同いただき、後援会の皆様のご支 援に心よりお礼を申し上げます。

(課外活動支援 吉田 弘美)

幼保英検検定料ご支援に感謝

後援会の皆様、日頃より私たち学生に温かいご支援 をいただき、ありがとうございます。この度は幼保英 検(幼児教育・保育英語検定)の受検料にご援助いた だき、誠にありがとうございました。

私は人間発達学科幼児教育コースに所属し、将来は 幼稚園教諭を目指しています。私が履修した「児童英 語概論 | の中で受検対策が行われ、日々勉強に取り組 みました。授業で学んだことを生かし、2月に幼保英 検を受検することができました。結果を待っていると ころですが、必ず「幼保英語士資格証」を取得し、将 来に生かしていきたいと思います。

最近よくニュースなどでも取り上げられますが、日 本の教育の分野でもグローバル化が進み、子どもへの 英語教育の在り方も徐々に変わりつつあります。英語 の授業を導入する幼稚園が増え、英語教育の低年齢化 が一層進んでいる今、子どもに英語を教えることがで きる幼稚園教諭が求められています。そのような者を 対象にした幼保英検は実力を計る資格試験として注目 されていますので、受検に際し、ご援助いただけたこ とは大変ありがたく思っております。(www. vouhoeiken.com)

改めて御礼申し上げるとともに、今後とも私たち学 生をお見守りいただきますよう、よろしくお願いいた します。

(人間発達学科 島田 紗絵子)

後援会補助金事業についての御礼

私は、後援会よりご支援いただき精神保健福祉士国家 試験対策として模擬試験を受験いたしました。

今年は新型コロナウイルスの影響により、前期はオン ラインでの授業となったため初めてのことに焦りや不安 を感じながら学んでいました。そのような中、後援会よ り援助していただき模擬試験を受験いたしました。模擬 試験により前期の学びの成果を確認することができ、不 安を感じながらも、自分なりに努力をしたオンライン授業 の学びは無駄ではなかったと安心することができました。

また、本番さながらの問題に触れたことで、日々の勉 強のモチベーションも上がり、模擬試験の結果から自分 の得意な分野、苦手な分野を細かく知ることができたた め、効率良く勉強ができ自信にもつながりました。この 経験を活かしてより一層努力して参ります。

このような貴重な機会をご支援くださいました後援会 の皆様に心より御礼申し上げます。今後とも専門職を目 指し勉強に励む後輩のためにも、ご支援くださいますよ うよろしくお願いいたします。

(心理福祉学科 加藤 真那)

国家試験対策講座のご支援の御礼

この度は、管理栄養士国家試験対策支援をいただきま して誠にありがとうございました。私たちは、3年後期 からESSモバイル管理栄養士版を用いた国家試験対策、 さらに学外講師による対策講座を行っていただきました。

ESSモバイル管理栄養土版では、科目別の過去問題や 一問一答など場所を選ばす、スマートフォン1つで学習 することができ、空いた時間をうまく活用しながら効率 よく自己学習に取り組み着実に力をつけることができま

対策講座では、一つひとつ丁寧に教えていただきまし たお陰で、より理解を深めることができ、また国家試験 合格のための重要なポイントを明確にしながら、問題へ のアプローチ方法を学ぶことができました。

最後になりますが、管理栄養士国家試験対策における ご支援により、合格に向けた勉強に励むことができまし た。このような貴重な機会をいただいた後援会の皆様に 心より御礼申し上げます。

今後とも後輩のために何卒ご支援のほどを宜しくお願 い致します。

(健康栄養学科 木村 かえで)



補助金事業の御礼

私は英語と韓国語のランゲージ・カフェをいつも利用 してきました。英語のランゲージ・カフェは、お菓子や 紅茶をいただきながら、先生とフリートークをし、配布 資料の英語を音読したり訳したりするという内容です。 とりわけ昨年は、先生のお宅を訪ね、ランゲージ・カフェ をいつも利用している先輩方と一緒にたこ焼きパー ティーを行いました。交流を深めることができた素晴ら しい時間でした。元々私は英語が苦手でしたが、苦手 を理由に避けずに自ら行動した結果、以前よりも会話に 自信がつきました。

韓国語のランゲージ・カフェも内容は同様です。私は 高校生の時に独学で始め、大学入学後に本格的に学び ました。会話力を磨くには、ネイティブの先生と直に話 すのがベストです。発音の指摘は特に参考になります。 コロナ禍のため、留学に行くことは断念しましたが、ラ ンゲージ・カフェのおかげで、入学前よりも確実に会話 力が上がりました。

私にとって、ランゲージ・カフェは、大切な学びの場 であり、感謝の気持ちでいっぱいです。これからも後援 会のご協力のもと、勉学奨励金補助をぜひともお願い いたします。

(グローバル・スタディーズ学科 田中 緋香里)

後援会事業積立金事業報告

新型コロナウイルス感染症の影響で、主たる生計維 持者の収入が激減している学生に対して、また、オン ライン授業の通信環境整備を支援するために全学生に 対して、事業積立金からご支援をいただき、本学寄附 金と一体運用を行い、収入激減のご家庭の学生3名に、 また、908名の学生に通信環境整備費を支援すること ができました。

今後も学業が継続できるようにできる限りの支援を していきたいと思いますので、ご理解とご協力をお願 いいたします。

大学からの報告

学内の新型コロナウイルス感染予防対策 としての一部を紹介します



掲示板を使用しての 入退構のアナウンス



サーマルカメラを設置し 短時間で検温



教室の座席数の 制限措置



食堂 (ステラマリス) 簡易パーテーション設置による 感染拡大防止対策

学生支援について

大学連携部会「奨学支援」のご支援により、「大学 奨学金」と一体運用し在学生の学業成績、学修態度が ともに優れ経済的理由のための学業の継続が困難と認 められる学生を支援しています。2020年度は「仙台 白百合女子大学奨学金 | 7名、「東日本大震災授業料 減免」については4名支援させていただきました。

更に、大学独自として、各学科の成績優秀者に対し 「学業成績奨励金」の給付しております。

今後も後援会のお力添えをいただきながら学生支援 を行っていきたいと思います。

2021年度 行事予定

前期

4月 2日(金) 入学式 (イズミティ21)

4月 7日 (水) 白百合ウェルカム・フェスティバル

4月 8日 (木) 前期授業開始日

6月 19日(土) 後援会総会 1·2年生保護者会

6月30日(水) 修養会

7月 30日(金) 前期授業最終日

後期

9月20日(月) 後期授業開始日10月23日(土) 白百合祭準備日

10月 24日(日) 白百合祭

10月 24日(日) 日日合宗 10月 25日(月) 白百合祭代休

11月 6日(土) 就職に関する保護者説明会

12月 22日 (水) クリスマスミサ・学生会クリスマス会

12月 24日 (金) 年内授業最終日

1月 5日(水) 授業再開 1月 19日(水) 後期授業終了日

2月 24日(木) 卒業判定結果掲示

3月 17日 (木) 卒業感謝ミサ・同窓会入会式

3月 18日 (金) 学位記授与式

仙台白百合女子大学後援会 2020年度 理事名簿

氏 名	担当部会
	由 大学連携部会長
副会長 安保 かお	
副会長 安保 かお 副会長 金澤 晃	一 事業部会長
監事 今野芳	子 広報部会長
監事 高橋優	子 大学連携部会
理事 佐藤幸	也 大学連携部会
理事 安彦 恵美 理事 後藤昭 理事 大地久美	子事業部会副部会長
理事 大地久美	子 広報部会副部会長
理 事 小 山 裕	子 事業部会
理事 小田中 しお	り 大学連携部会
理 事 星 富美	
理事佐藤里	美 事業部会 純 大学連携部会
理事廣瀬	純 大学連携部会
理 事 千田耕	也事業部会
理事 関陽	一 大学連携部会
理 事 青 木 理 事 釼 持 陽	豊事業部会
理 事	子 広報部会
理事 渡邉博	豊 事業部会 子 広報部会 子 同窓会会長
顧問 矢口洋	生 学長
理 事 小 嶋 文	博 大学連携部会/学部長
副会長 渡 邊 兼	行 大学連携部会/心理福祉学科長
理 事 吉 田 弘 理 事 志 田 昌	美 事業部会/教学委員会副委員長 幸 広報部会/事務局長
理事志田昌	幸 広報部会/事務局長
理 事 石 岡 宏	美 広報部会/事務局次長兼入試広報課長兼大学広報室長
理 事 石 岡 宏 理 事 高 橋	豊 事業部会/事務局次長兼図書館事務長
理 事 川 村 かほ	
理事 佐藤啓	朗 事業部会/キャリアセンター長
理事 高橋千恵	子 大学連携部会/事務局次長兼庶務課長

編集後記

● 早いもので年度末を迎える3月になり、後援会報も無事に発行することができました。ご協力いただいた皆様に感謝申し上げます。今年度は新型コロナウイルス感染の拡大により、医療、経済、教育、福祉 など様々な分野に影響を及ぼしました。大学においては前期からオンライン授業(後期より対面授業)を開始、新しい授業形式等を実施しました。後援会では、厳しい状況下の中、学生の就職支援・学生生活・勉学環境等をよりよく、安心・安全に学べるキャンパスを目指して運営されている大学を支援しています。今後も会員の皆様のご支援・ご協力をお願いいたします。 (広報部会)

仙台白百合女子大学後援会ホームページ

活動内容が紹介されています。是非、ご覧ください。また、理事を募集しています。お引き受けいただける方は、後援会事務局(庶務課)までご連絡願います。

Q 検索 仙台白百合女子大学 後援会

仙台白百合女子大学 寄付金のお願い

【目 的】 仙台白百合女子大学の教育・研究環境 の整備充実のため

【使 途】① 教育・研究環境の整備

② 奨学資金の充実 経済的理由のため学業継続が困難 である優秀な学生への支援 東日本大震災における被災学生の 授業料減免支援 留学生支援

ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

Q 検索 仙台白百合女子大学寄付金の募集

後援会より卒業生へ 記念品贈呈

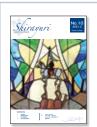
卒業生の皆さまに 記念品といたしま して「ふくさ」を プレゼントいたし ました。











「ジャンヌ・ダルク」 (ステンドグラス 1980)

設置場所:図書館1F階段前 主に召されて戦いにいどむ、聖な る乙女ジャンヌの万感の思いが込 められています。

仙台白百合女子大学後援会

〒981-3107 仙台市泉区本田町6番1号

TEL: 022-372-3254 FAX: 022-375-4343

E-mail: kouenkai@sendai-shirayuri.ac.jp





